

平成30年7月

豪雨関連

令和元年8月13日

四国地方整備局

四国山地砂防事務所

地下水排除工の運転を開始しました！

～徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区地すべり対策～

四国山地砂防事務所は、平成30年7月豪雨により大規模な地すべりブロックの移動が確認された徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区において、緊急的な対策として地下水排除工（ディープウェル工）を施工しています。このたび、ディープウェル工全体11本の全ての運転を開始しましたので、お知らせします。

豪雨時の急激な地下水位の上昇対策として、ディープウェル工の水中ポンプを降雨時に稼働させ強制的に排水し、地下水位を低減させることで、地すべり変動を抑制することが期待されます。

お問い合わせ先（○主な問い合わせ先）

国土交通省四国地方整備局 四国山地砂防事務所

副所長（技術） 白石 隆 （内線 204）

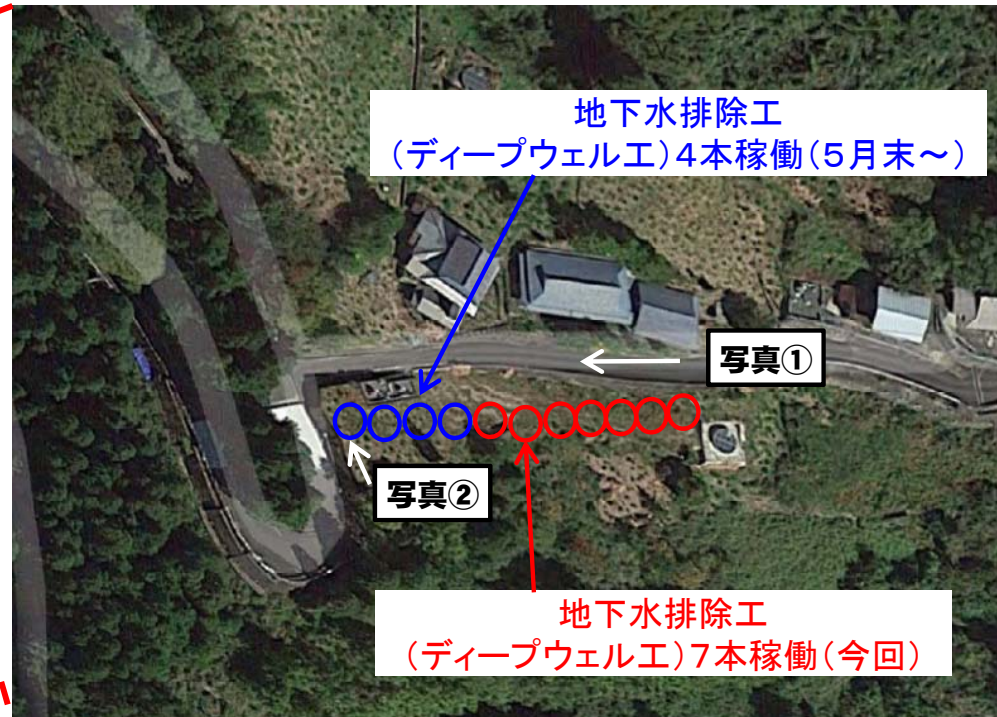
○工務課長 有田 由高 （内線 311）

建設監督官 藤本 章次 （内線 6541） 祖谷地区

電話0883-72-5400（代表）

地下水排除工(ディープウェル工)の運転を開始しました。

地下水排除工
(ディープウェル工)



＜参考＞平成30年7月豪雨を受けて直轄地すべり対策災害関連緊急事業を実施しています。

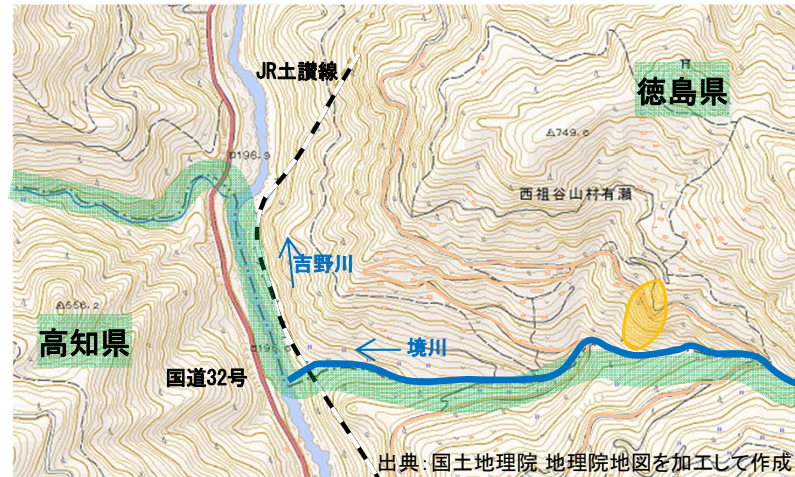
徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区において、河道閉塞の発生が想定される大規模な地すべりブロックの移動が確認されたことから、変状の進行を抑制するため、緊急的な地すべり対策工事を実施しています。



【吉野川水系境川】

- 徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区
 ○平成30年7月豪雨による被害状況
 河道閉塞発生のおそれ、市道の変状等
 ○主な対策
 地下水排除工(ディープウェル工)

被災箇所



出典: 国土地理院 地理院地図を加工して作成



<参考>ディープウェル工とは？

- ・地すべりの要因の一つである地下水を排除する工法です。
- ・地中深くに井戸を設置し、その井戸に流入した地下水を水中ポンプでくみ上げます。
- ・豪雨時には急激に地すべりブロックの地下水位が上昇し、地すべりが移動することから、豪雨時の急激な地下水位の上昇対策として、ディープウェル工を降雨時に稼働させ強制的に排水し、地下水位を低減することにより、地すべり変動を抑制するものです。

※地すべりとは、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。

施工イメージ

